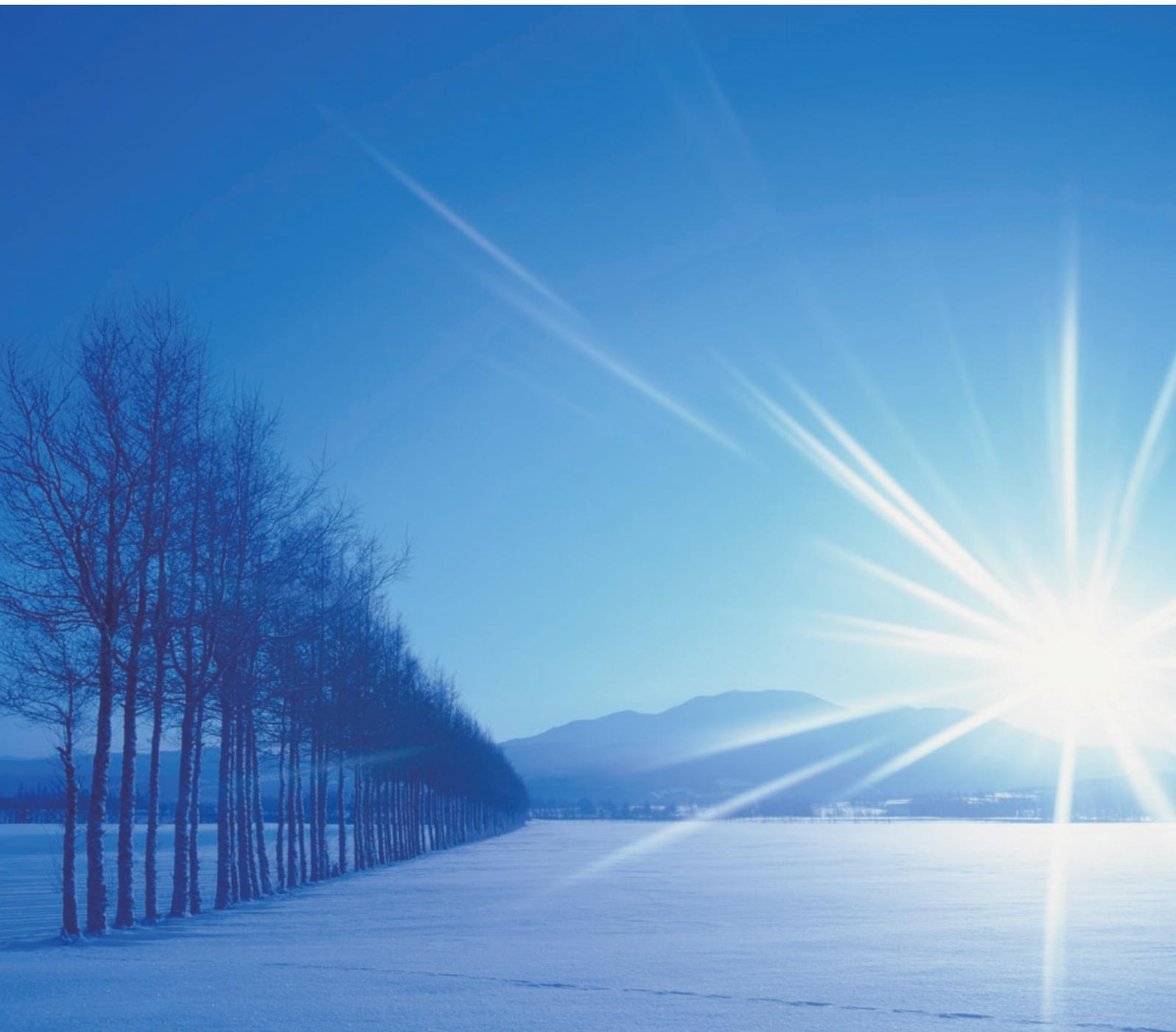


# 株主の皆様へ

2014 新春号



鋼線の総合メーカー(新日鐵住金グループ)



鈴木金属工業株式会社

証券コード:5657



## 「攻め」と「革新」で さらなる企業成長を 目指します

鈴木金属工業(株)  
代表取締役社長

升光 法行

新年あけましておめでとうございます。  
年頭にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年の世界経済は、米国経済の緩やかな拡大や欧州経済の持ち直し、国内における円高是正・アベノミクス効果等を背景とした景気浮揚など、総じて堅調に推移しました。

当社グループは、引き続き国内外の生産構造改革を推進し、Thai Special Wire Co.,Ltd. (TSW社) における高級ばね材の品質向上・製造拡大工事を完了するとともに、習志野工場における第一期の生産設備リフレッシュ・新鋭化を計画通りに進めてまいりました。

グループ業績につきましては、拡大する東南アジア需要の捕捉による増収や生産性向上・コスト改善効果等により、平成26年3月期第2四半期累計期間の売上高は、267億6千4百万円、経常利益は、8億2千6百万円となりました。また、年度通期予想につきましては、既公表のとおり、経済情勢の変化等を踏まえ、売上高540億円、経常利益18億円（対前期増収・増益）を見込んでおります。

本年の世界経済は、欧州の本格的な回復には未だ時間を要するものの、米国経済の順調な回復やアジア諸国の安定成長により、拡大を続ける見通しです。日本経済は、消費税率引き上げによる一時的な影響はあるものの、輸出による下支えや建設分野における震災復興の進展、国土強靱化基本法の成立に伴う社会資本の整備、さらには東京オリンピック招致決定による先行きへの期待感もあり、フォローウインドの基調に大きな変化はないものと予想しております。当社グループは、これまでも増して世界各地の生産拠点を有機的に活用し、シェアの維持・拡大に努めるとともに、生産構造改革の手を緩めず、高生産性の追求によるコスト競争力向上を図ることで、安定的収益の確保とさらなる財務体質改善を図ってまいり所存です。

また本年は、一連の改革を成果に結びつけることのみならず、将来に向けた新たな布石を打つ年と考えております。ステークホルダーの皆様にとって“魅力あるグローバル企業”であるために、本年は以下の課題に取り組めます。

## 1. グローバル事業構造の深化

世界の自動車市場が拡大を続ける中、当社グループもグローバル事業構造をさらに深化させてまいります。本年は、1月から営業運転を開始するTSW社の高級ばね用生産設備の効果を発揮し、伸びゆくアジアの二輪・四輪向け需要を確実に捕捉するとともに、グループ間の営業・技術面での連携をより一層強化し、Suzuki Garphyttan社（SG社）蘇州やサウスベンドでの欧州・日系トランスプラント向けの販売拡大を目指します。

一方で、自動車分野に限らず、当社グループの強みや経営資源を活かす機会があれば、これを機敏に捉え、積極果敢な判断を行い、企業価値向上に繋げる所存です。

## 2. 技術先進性の追求

グループの主力工場である習志野工場は、本年春に第一期のリフレッシュが完了いたします。第二期として、残りの工場も含めた新たな生産設備構造改革に着手します。これまで蓄積してきた技術と最新技術を結集し、将来にわたって競争力を有する高生産性プロセスの開発・導入に挑戦する所存です。また、海外の生産拠点においても、お客様のニーズを踏まえた品質強化・商品メニュー拡大・生産性向上等の投資を鋭意検討・推進してまいります。

商品開発面では、昨年、自動車用の新高強度材や医療分野向けの特種ワイヤなど、当社グループの強みである素材からの一貫開発や固有の伸線技術等を基盤とした商品をマーケットに送り出すことができました。今後、大きな戦力になるものと期待しており、本年もこれに続く新商品の開発・投入を目指します。

お客様のニーズは、他の追随を許さない圧倒的な高

機能を有するオンリーワン商品と価格・性能のバランスに優れた商品への二極化が進んでおります。これらのニーズに応えるためには、素材から製品までの一貫視点での総合ソリューション力の強化が不可欠であり、当社グループにおける適切な経営資源の投入のみならず、さらなる素材メーカーとの連携強化やお客様との密接な対話を継続してまいります。

当社グループが製造業として全てのステークホルダーに信頼いただくためには、コンプライアンス・内部統制活動の継続的な改善、グローバルな視野での環境への配慮、地域と共生する活動の継続、安全な職場造りが基本となります。

また、企業の成長を実現する上での基礎となる「人材（材）」の育成につきましては、“もの造り＝人造り”の考えのもと、研修施策の充実や国内外の生産・販売連携等を通じた人的交流の拡大を推進しておりますが、絶え間なく続く環境変化を積極的に受け入れることができるタフでしなやかな精神力の涵養に一層注力してまいりたいと思います。

当社は昨年、創立75周年・3/4世紀という節目の年を迎え、本年、新たな一歩を踏み出しました。創業者の“現状維持はすなわち退歩”、“企業繁栄の源は、限りない前進のみにある”という思いを承継し、「攻め」と「革新」でさらなる企業成長を実現してまいりたいと考えております。

この一年が皆様にとって、健康で明るい年となりますよう祈念し、年頭のご挨拶といたします。

## TSW社の高級ばね用生産設備が完成しました

(平成25年11月)

習志野工場からの伸線機移設および伸線機・パテンティング炉新設等の工事を完了しました。洪水の影響があったものの、昨年、当社から本格的な技術支援を行い、本年初からの営業運転に漕ぎつきました。

これにより、一層の拡大が見込まれるアジアの二輪・四輪向け需要捕捉が可能となります。



## JK活動において「QCサークル千葉地区チャンピオン大会」に出場しました

(平成25年10月23日)

職場での様々な課題解決に取り組むJK（自主管理）活動において、当社の特線工場チャレンジャーサークルが、「QCサークル千葉地区チャンピオン大会」に出場しました（当社として2回目）。日頃の地道かつ継続的な改善活動が花開きました。



## 安全新記録を更新しました

### 業種別（伸線業）無災害最長記録更新

(対象期間：平成21年7月24日～平成25年7月31日)

昨年につづき安全記録をさらに更新し、総合無災害記録（休業災害以上）第4種600万時間を達成しました。

また、過去3年間、重大な災害を発生させていないことなど、当社の安全への取り組みが評価され、船橋労働基準協会より「安全管理優良事業所」として表彰されました。

## 株式事務の取扱いについて

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324（フリーダイヤル）
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。 なお、未払配当金のみ、株式会社みずほ銀行本店および全国各支店でもお取り扱いいたします。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

鋼線の総合メーカー（新日鐵住金グループ）

 **鈴木金属工業株式会社**

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 丸の内中央ビル

URL <http://www.suzuki-metal.co.jp/>